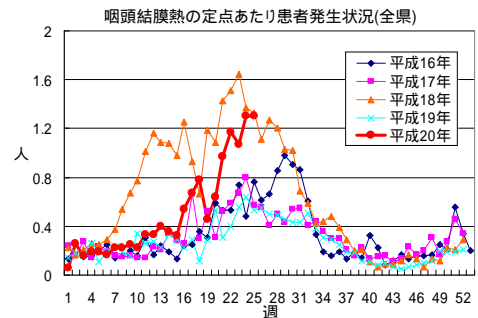
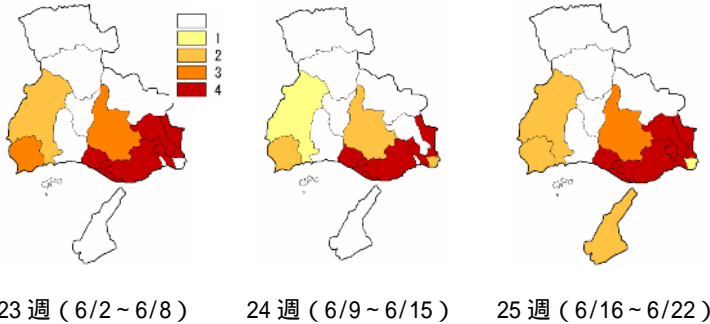


全国の情報は国立感染症研究所感染症情報センターホームページにてご覧ください。 <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

定点把握感染症(指定された医療機関から報告を求める感染症です)

咽頭結膜熱

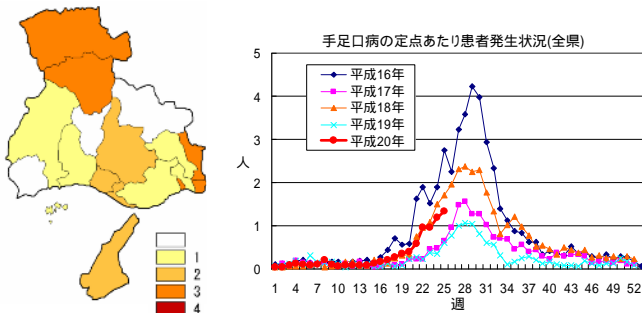
現在、流行期を迎えており、大きな流行をみせた一昨年並に多い患者数となっています。依然として阪神地域から東播磨地域にかけて患者数が多い状況です。



その他の感染症の概況

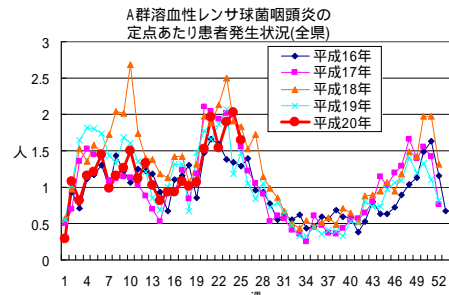
手足口病

報告患者数が増加を続けています。代表的な夏型の感染症であり、7 月をピークに 8 月頃まで多い時期が続きます。但馬地域で多くなっています。



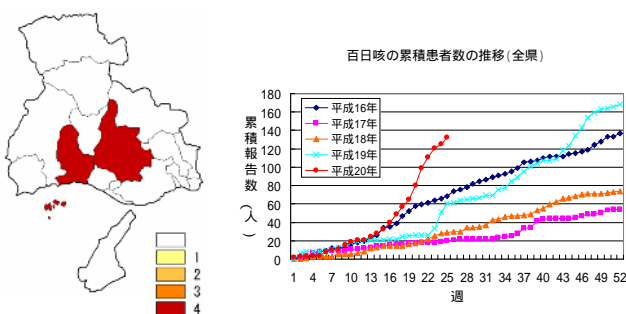
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

報告患者数は今週減少しました。流行期ももうしばらくで終わりです。



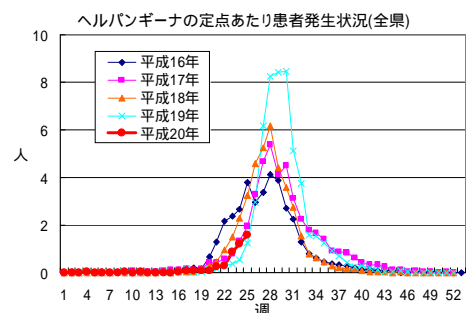
百日咳

今週報告患者数は 7 人(先週 4 人)と増加し、累積報告数は過去 5 年間の同時期と比較して最も多い状況です。姫路及び社保健所管内で多くなっています。



ヘルパンギーナ

報告患者数が増加を続けています。例年、7 月の下旬にピークを迎える代表的な夏型の感染症です。



定点あたり患者数の上位 10 位の疾病

	疾病名	定点あたり患者数		増減		疾病名	定点あたり患者数		増減
		今週	先週				今週	先週	
1位	感染性胃腸炎	5.57	7.02	- 1.45	6位	咽頭結膜熱	1.30	1.30	± 0.00
2位	水痘	1.83	2.02	- 0.19	7位	流行性角結膜炎	0.77	0.74	+ 0.03
3位	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	1.64	2.02	- 0.38	8位	突発性発しん	0.64	0.62	+ 0.02
4位	ヘルパンギーナ	1.57	1.19	+ 0.38	9位	流行性耳下腺炎	0.57	0.41	+ 0.16
5位	手足口病	1.34	1.18	+ 0.16	10位	伝染性紅斑	0.11	0.14	- 0.03

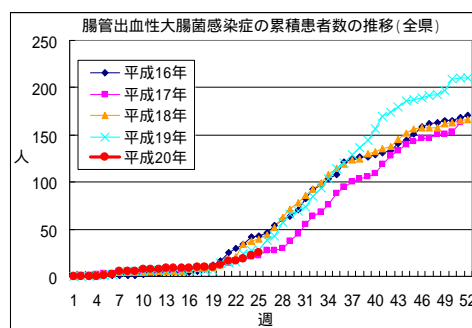
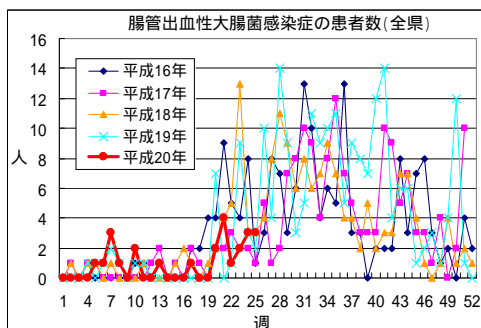
全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症です）

1 類感染症	報告はありません。
2 類感染症	結核 35名 （神戸市 14名、尼崎市 7名、姫路市 4名、西宮市 1名、伊丹保健所管内 1名、宝塚保健所管内 3名、明石保健所管内 2名、加古川保健所管内 2名、豊岡保健所管内 1名）
3 類感染症	細菌性赤痢 1名 （神戸市；FLEXNERI(B群)/海外渡航者） 腸管出血性大腸菌感染症 3名 （神戸市 1名；O26 VT1+, 社保健所管内 2名；O157 VT1+VT2+, O157 VT型不明/同一家族）
4 類感染症	A型肝炎 1名 （明石保健所管内） レジオネラ症 2名 （姫路市；肺炎型、柏原保健所管内；肺炎型）
5 類感染症	急性脳炎 1名 （神戸市；病原体不明） 後天性免疫不全症候群 2名 （無症候性キャリア 1名, AIDS 1名） 麻しん 3名 （神戸市 1名；17歳/臨床診断/ワクチン接種歴不明、西宮市 1名；16歳/検査診断/ワクチン接種歴有、社保健所管内 1名；15歳/修飾麻しん/ワクチン接種歴有（3歳時））
追加報告	結核 12名 （尼崎市 2名；第 24 週、姫路市 1名；第 23 週、明石保健所管内 3名；第 24 週、和田山保健所管内 1名；第 24 週、洲本保健所管内 5名；第 20 週、第 21 週、第 22 週、第 23 週、第 24 週）

腸管出血性大腸菌感染症 🍴 梅雨の時期となり、腸管出血性大腸菌感染症(いわゆるO157)や食中毒などが多発する季節となっています。今週は3名の腸管出血性大腸菌感染症の報告がありました。25週現在の累積報告数は25名でそのうち約半数が神戸市からとなっています。報告数は例年並ですが、今後の増加に注意が必要です。



1～25週の累積患者数による

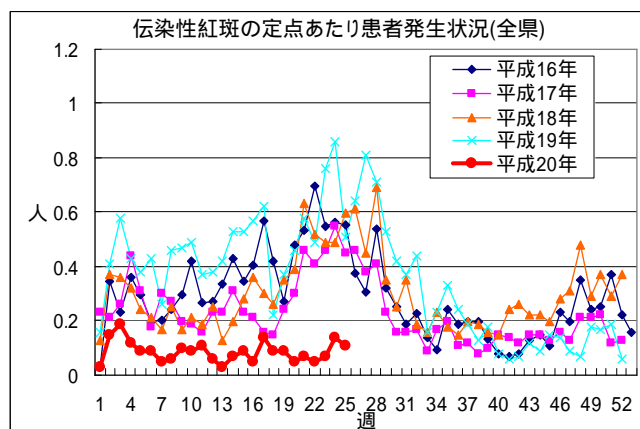
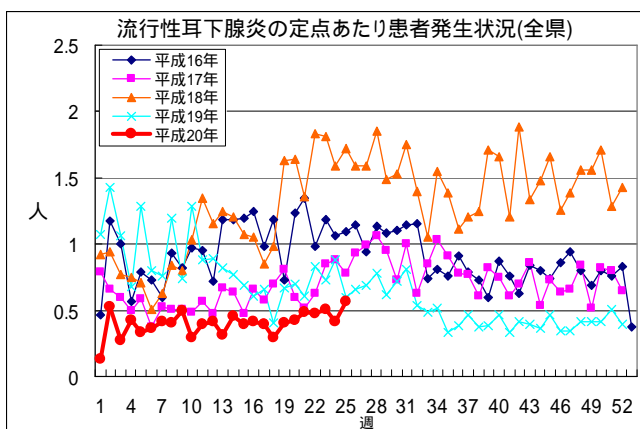
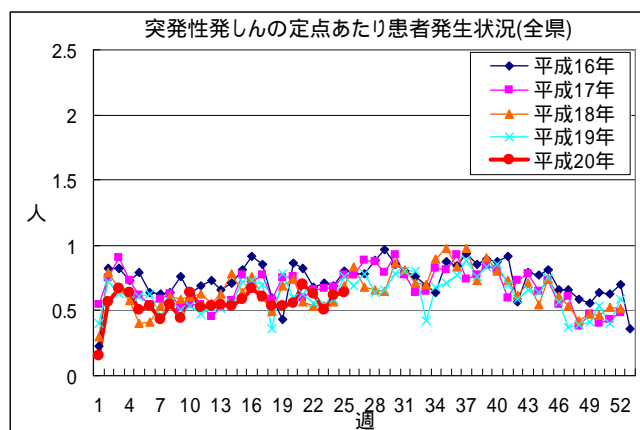
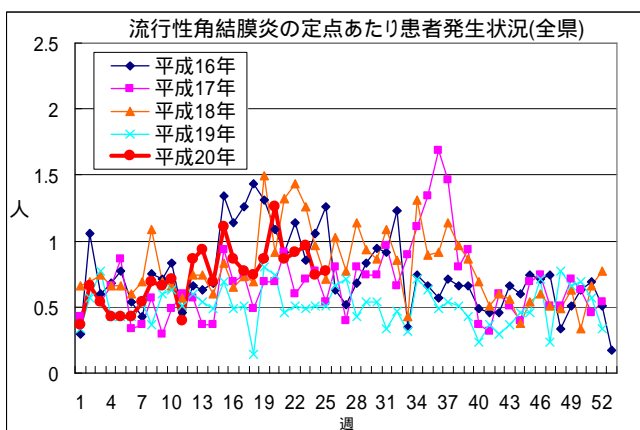
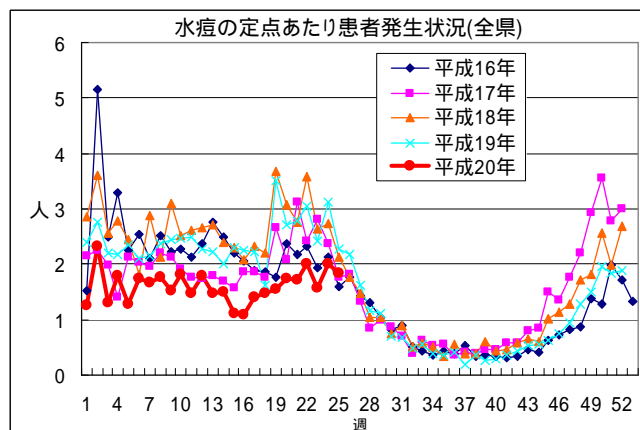
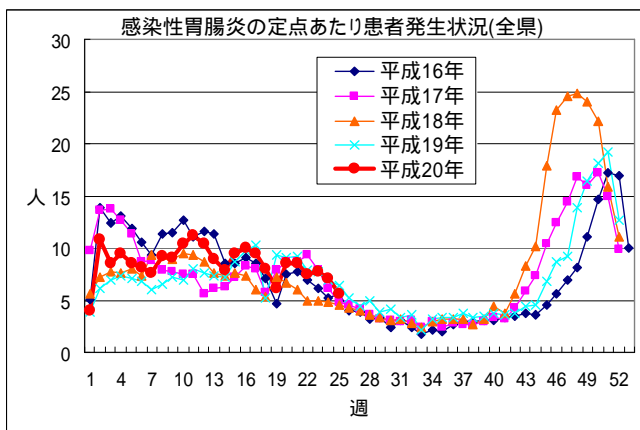


検査情報（兵庫県立健康環境科学研究所）

5月に搬入のあった検体のうち、手足口病患者（2～6歳）から、**コクサッキーウイルス A16型**が4例検出されました。滲出性扁桃炎患者及び咽頭結膜熱患者等（1～7歳）から**アデノウイルス**が5例検出され、うち1型が1例、2型が3例、3型が1例となっています。また、**感染性胃腸炎患者**（0～1歳）から**アデノウイルス 2型**と**40/41型**の同時検出が1例、**ノロウイルス**の検出が1例ありました。**無菌性髄膜炎患者**（13歳）から**エンテロウイルス（型別中）**と**ライノウイ**

ルスがそれぞれ別の検体材料から検出されている他、**上気道炎患者**（1,4歳）からは**ライノウイルス1例**、**ヒトメタニューモウイルス1例**が検出されています。その他追加情報として、17週時点で型別中であった**感染性胃腸炎患者**（0歳）の**アデノウイルスは40/41型**と判明しました。また、4月に検体搬入のあった**無菌性髄膜炎患者**（9歳）から**エコーウイルス6型**が検出されました。

目で見る動向（県内）



この週報は兵庫県立健康環境科学研究所ホームページ <http://www.hyogo-iphes.jp/> にも掲載しています。

また、<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html> から国立感染症研究所感染症情報センターの週報(IDWR)がダウンロードできます。